

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	01_北海道
市区町村名	01000北海道
自治体区分	都道府県

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
01434秩父別町	②学校と地域の課題	01 通学路等の地域安全・地域防災	移住・定住施策の展開により、市街地区の児童・生徒が増加し、その分児童・生徒の交通事故リスクも増加している。	地域ボランティアによる市街地区での主に登校時の見守りを開校日に実施している。	地域ボランティアによる市街地区での主に登下校時の見守り活動を開校日に実施する。。	見守り活動により、通学時の児童・生徒安全が確保される。	通学時におけるヒヤリハットの報告件数	0	件	0	0	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた 登校時における安全確保が図られており、年1回のボランティア代表等による会議で情報交換することで、通学時における危険の序協につながった。防犯パトロール員の高齢化・減少の対応が課題である。	https://www.town.chippubetsu.hokkaido.jp/
01434秩父別町	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	デジタル媒体の普及により、子ども同士で遊ぶ機会の減少が懸念される。	放課後子供教室の開設により、放課後安全に遊ぶ場を提供している。	放課後子供教室の開設により、放課後安全に遊ぶ場を提供する。また放課後子供教室参加児童を対象とした体験事業を行う。	異年齢集団での遊びにより、児童の社会性が育成される。	放課後子供教室の延べ利用者数	3805	人	3900	2314	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫改善が求められる 学年を超えた友好関係が築かれているとともに、運営者による季節イベント等により多様な体験活動が図られている。少子化による実児童数の減少もあり参加人数は減少したが、異年齢集団の安全な遊び場であり、また体験の場として地域と連携した事業を検討したい。	https://www.town.chippubetsu.hokkaido.jp/
01434秩父別町	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	町外から通勤する教員が殆どであり、特に小学校で地域との連携の意識の希薄さが見受けられる。	教育委員会が仲立ちとなり、小学校において地域で活動する団体による出前教室等を実施している。	教育委員会が仲立ちとなり、小学校において地域で活動する団体による出前教室等を実施する。また、学校支援ボランティアを募集し、小中学校と共有する。	児童の多様な体験の機会となるとともに、地域に開かれた学校づくりにつながる。	地域で活動する団体による出前教室等の実施回数	2	その他	2	5	04 本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた 小学5年生を対象にした陶芸教室、小学1～3年生を対象とした人形劇講演を行い、学校教育だけではできない体験ができた。また、今年度は小学校スキー授業に対し、地域ボランティアが実技指導を行い、目標値を上回ることができた。	https://www.town.chippubetsu.hokkaido.jp/

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。